

## 学習指導要領

- 基礎的・基本的な知識及び技能の確かな定着
- 思考力・判断力・表現力等の育成
- 主体的に学習に取り組む態度の育成
- 学習習慣の確立

## 児童の実態分析

- 単元テスト（単元毎：全学年）
- 全国学力調査（4月：6年）
- ふくしま学力調査（5月：4～6年）
- NRT学力調査（2月：全学年）
- 定着確認シート・活用力育成シート
- ルーブリック（随時）

## 児童の実態・課題

- ・素直で優しく、よく働く児童が多いが、消極的・指示待ちになりがちである。
- ・少人数のため、他者と協働した活動や多様な考えにふれる機会が少ない。
- ・上位の児童と下位の差が非常に大きい。
- ・自分の考えをまとめ、表現する力に差が見られる。
- ・家庭学習への取り組みに差が見られる。

## Action

### 全国学力・学習状況調査の結果分析を受けて

#### 【国語科】

日常的に文章を「書く」時間を大切にする。授業においては、自分の言葉で学習の振り返りを書く時間を確保したり、日記や作文などの家庭学習と関連付けたりしながら、相手意識や目的意識をもって文章を書く力を育てていく。

#### 【算数科】

「割合」だけでなく、それに関わる「かけ算」「わり算」「倍」「速さ」「比」など、低学年段階から各学年で知識・技能の確かな定着を図っていく。そのためにも、解決の必要性ある課題やめあてなどを児童主体で設定していけるように授業の改善を図っていく。



# 令和5年度 只見町立明和小学校 9月改訂 学力向上グランドデザイン

## 目指す子どもの姿

- 【気づき】自分の考えをしっかりともち、
- 【考え】人の意見やよさを認めながら学び、
- 【実行】自他の成長につなげる行動をする子ども

## 今年度の指導の重点

- 「基礎・基本の確かな定着」
- 「非認知スキルの育成」

## Plan

### ①基礎・基本の確かな定着

- ・育みたい資質や能力を明確にした授業・学習内容を定着させる時間の計画的な実施
- ・「南会津版『授業スタンダード』リーフレット」を活用した授業改善と複式授業の充実
- ・各種学力調査等の分析による成果と課題の明確化と指導の重点項目の設定

### ②「主体的・対話的で深い学び」の実現

- ・学び合える学習集団づくり・協働的な学びの意図的な位置付け
- ・教科等の特質に応じたICTの効果的な活用

### ③非認知スキルの育成

- ・ルーブリックの活用

## 数値目標

- ・「学校が楽しい」AB評価90%以上
- ・「授業が分かる」AB評価90%以上
- ・NRT(国語・算数) 偏差値54達成
- ・家庭学習の手引きの活用
- ・「家庭学習習慣」AB評価85%以上
- ・「自己有用感」AB評価90%以上

## 福島県施策

◎第7次福島県総合教育計画～個人と社会のWell-being（一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せ）の実現～

- 令和5年度 学びの変革推進プラン

## 只見町教育施策

- 将来の只見を担う子ども達の教育の充実
- 家庭教育力の向上
- 地域文化の振興
- ESD教育の推進

## Do

- 学力向上学級化プラン
- 学習規律の徹底
- 育みたい資質能力の明確化
- 複式学級での学びの充実
- 協働的な学習の設定
- 定着させる時間の確保
- ルーブリックの活用

## Check

- ### 【ロングスパンの検証】
- 全国学力・学習状況調査の結果分析
  - ふくしま学力調査の結果分析
  - NRT学力調査の結果分析

- ### 【ショートスパンの検証】
- 定着確認シートの定期実施と結果分析
  - 授業や事前テスト、単元末テストによる教師の見取りと学び方・考え方のよさの累積
  - 週案による実践事項の「学力向上GD確認シート」を活用した毎月の自己評価
  - 互見授業週間の実施や授業研究会による成果・課題把握と指導改善